

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

国語

科目 古典探究演習

教科：国語

科目：古典演習

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（ A・B群：阿部 新井 松平 ）

使用教科書：（ 高等学校古典探究（第一学習社） ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な知識・技能を身に付け、国語に対する理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力を鍛え、豊かな想像力を育み、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い読書を通して自己を向上させ、言葉を通して社会との関わりを深める。

科目 古典探究演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 1・2年時の文法の復習 【知識及び技能】 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これまでの模試の復習から課題を学び取り、今後の学習計画をしようとしている。	・指導事項 歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 ・教材 『大鏡』花山天皇の出家 ・一人1台端末の活用 等 ・古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート ・ステップアップノート30			○	【知識及び技能】 ・助動詞や文語文法に対する知識・理解と敬語表現について深めることができる。大学受験に対応できる実力をつける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、作品の時代背景や人物関係について理解を深め、作品を楽しみながら読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に歴史物語を読み、編者の考えを整理して内容を解			○ ○ ○	13
	B 単元 「大鏡」 【知識及び技能】 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。	・指導事項 歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 ・教材 『大鏡』花山天皇の出家 ・一人1台端末の活用 等 ・古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート ・ステップアップノート30			○ ○	【知識及び技能】 ・助動詞や文語文法に対する知識・理解と敬語表現について深めることができる。大学受験に対応できる実力をつける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、作品の時代背景や人物関係について理解を深め、作品を楽しみながら読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に歴史物語を読み、編者の考えを整理して内容を解			○ ○ ○	14
	定期考査								○ ○	1
	C 単元 古文：「更級日記」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ものの見方や考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた作者の人生観を読み取り、自分のものの見方、考え方を深める。	・指導事項 晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ・教材 『更級日記』門出・源氏の五十余巻 ・一人1台端末の活用 等 ・古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート ・ステップアップノート30			○	【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日記文学を読み、作者が抱いた思いを通して、ものの見方や考え方を深めている。作者の40年間にわたる精神遍歴について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた人生のはかなさをかみしめる作者の諦観について読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。			○ ○ ○	15
	D 単元 古文：「更級日記」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ものの見方や考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた作者の人生観を読み取り、自分のものの見方、考え方を深める。	・指導事項 晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ・教材 『更級日記』門出・源氏の五十余巻 ・一人1台端末の活用 等 ・古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート ・ステップアップノート30			○	【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日記文学を読み、作者が抱いた思いを通して、ものの見方や考え方を深めている。作者の41年間にわたる精神遍歴について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた人生のはかなさをかみしめる作者の諦観について読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。			○ ○ ○	12
定期考査								○ ○	1	
2 学 期	A 単元 「源氏物語」「夕顔の死」 【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解しようとする。	・指導事項 敬語法について理解する。長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開の仕方や心理描写の巧みさを捉える。 ・教材 『源氏物語』「夕顔の死」「新しい共通テスト」「大学入試国語頻出問題1200」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作り物語・歌物語の方法を受け継ぎ、壮麗な虚構の世界を築いた物語を読み、人間の真相について考え、読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の中で使われる敬語表現や和歌を積極的に理解して、説明しようとしている。			○ ○ ○	12
	B 単元 「夕顔の死」 【知識及び技能】 ・登場人物や背景・文化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これまでの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉える。	・指導事項 敬語法について理解する。長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開の仕方や心理描写の巧みさを捉える。読み比べる。 ・教材 『源氏物語』「夕顔の死」「新しい共通テスト」「大学入試国語頻出問題1200」 ・一人2台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作り物語・歌物語の方法を受け継ぎ、壮麗な虚構の世界を築いた物語を読み、人間の真相について考え、読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の中で使われる敬語表現や和歌を積極的に理解して、説明しようとしている。			○ ○ ○	15
	定期考査								○ ○	1
	C 単元 古文：[風姿花伝] 【知識及び技能】 ・主として能楽に関する様々な事柄について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・芸能に関する心得や、人の生き方に当てはめて、各自の考えを深める。	・指導事項 年齢に応じた稽古の仕方を説いた能楽書から、人の生き方に通じる普遍的な教訓を読み取る。優美な能の世界に触れ、日本の伝統芸能について興味・関心をもつ。 ・教材 『風姿花伝』『新しい共通テスト』『大学入試国語頻出問題1200』 ・古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・主として能楽に関する様々な事柄について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・今までの学習を生かして評論をよみ、芸能に関する語句・背景に注意しながら、積極的に筆者の考えを捉えようとしている。			○ ○ ○	14
	D 単元 「玉勝間」 【知識及び技能】 ・『古事記伝』『源氏物語玉の小櫛』などの作品に触れながら、筆者の論理について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本居宣長の主張の中心となる考えについて考察を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『徒然草』と読み比べ、それぞれ宣長の批評について論じる。	・指導事項 国学を大成した本居宣長について学び、文学史について学ぶ。 ・『徒然草』の一節を批判する作者の論理を理解し、古文を評価する態度や手法について考えを深める。 ・教材 『玉勝間』『新しい共通テスト』『大学入試国語頻出問題1200』 ・古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・時代背景と筆者の主張の中心は何なのか、考察を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『徒然草』と読み比べ、それぞれにの違いと、その違いが生じた理由を説明しようとしている。			○ ○ ○	13

	定期考査					○	○		1
3 学 期				○		○	○	○	15
				○		○	○	○	12
	定期考査					○	○		1
									合計
									140